

令和3年度事業計画書
令和3年4月1日から同4年3月31日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 事業活動の目的

- (1) メイクボランティア活動により組織基盤・財政基盤を維持する。
- (2) 調査研究活動により化粧の効果を科学的に実証する。
- (3) 化粧の効果に関して普及啓発活動を行い、化粧の社会的地位を向上させる。
- (4) 資格認証事業により外観に悩みを抱える方々の社会参加・社会復帰を支援し、併せて資格の社会的な認知・信頼性を確立する。

2. 事業活動を取り巻く情勢と活動の概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当法人の活動の柱である高齢者施設へのメイクボランティア訪問が非常に難しくなっている。また、資格認証制度についても、実技試験の実施を見合わせざるを得ない状況にある。会員基盤を維持するため、会場・オンライン併用によるセミナーの開催、新しいメイクボランティアのガイドラインと動画配信、資格認証制度のための学科テキストの発行・オンライン講習などを検討・実施していく。

外観のケアによる社会参加・社会復帰を支援する取組の裾野は拡大している。資生堂は、がん患者へのメイクの施術(と女性活躍のためのダイバーシティ経営の促進)で「日経SDGs経営大賞」の「社会価値賞」を受賞した。また国際化粧品療法協会(会長:大石華法)は内閣府による公益認定を取得し、「化粧品療法専門医」「化粧品療法士」制度を進めている。当法人と(有)かづきれいこはこの分野のパイオニアでありながら、活動の規模と資金力・広報力で劣っているが、メイク技術という点に強みを見出せるはずである。

3. 事業計画の内容

(1) メイクボランティア訪問・メイクボランティア講習会・メイク講座

(ア) メイクボランティア訪問

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、施設訪問再開のタイミングを計る。コロナ対応のための「新しいメイクボランティアのためのガイドライン」を作成したので、これに基づき講習会形式の「新しいメイクボランティア方法」の動画を会員向けに配信する。

(イ) メイクボランティア講習会

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、開催のタイミングを計る。「新しいメイクボランティア方法」の動画を活用する。

(ウ) メイク講座

- オンライン形式で実施可能な講座の開催について検討する。
- 更正保護法人「両全会」でのメイク講座、NHK文化センター等の学習機

関、行政機関、教育機関等でのメイク講座については、当該機関と相談しながら、再開を検討する。

(2) 調査研究活動

(ア) 化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察

身体障がい・知的障がい等をもつ母親への化粧の効果について、機会を捉えて調査し、データを集積していく。

(イ) 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」

(文化学園大学 応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信准教授との共同研究)

高齢者へのメイクの効果を表情データで測定する試みについて、多数症例(70~80)のデータを取りまとめるとともに、施術者側の生きがい感、自尊感情、ストレス認知などの変化について、アンケートにより収集したデータをまとめる。

(3) 普及啓発活動・情報誌等発行事業

(ア) 「顔と心と体」セミナーの実施

大人数を一カ所に集めての公開講座・シンポジウムの開催は困難な状況が続くと考えられるので、前年度から継続する会場とオンラインを併用した小規模なセミナー(「顔と心と体セミナー」)を定期的の実施する(2~3ヶ月に1回程度)。

(イ) 会報誌の発行・ホームページの更新

当法人の活動状況について周知するため、会報誌を年4回発行し、会員及び医療機関・高齢者施設・公共機関等に配布する。

ホームページの更新を最低月1回、月間アクセス1,000の回復を目指す。

(4) メンタルメイクセラピスト[®]資格認証事業

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、3級及び2級試験の実施を検討する。

「学科テキスト」の原稿を確定し、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、発行のタイミングを計る。

検定試験向けのオンライン講習の動画配信を検討する。

(5) その他

(ア) 理事会

以下の日程で開催予定であるが、Zoomシステムを利用したオンラインでの開催が主となる予定。

5月20日(木) 事業報告・決算承認、社員総会招集

11月 活動状況報告

また、必要に応じ、適宜理事会を開催する予定。

(イ) 社員総会

2021年6月(予定) 事業報告・決算承認のために開催予定。

(ウ) 活動財源

メイクボランティア等の事業収益、会費、寄附金、検定受験料、テキスト販売代金等を充当する予定。

以 上

令和3年度 収支予算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	2021(R3)年度予算合計	当年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,285,000	1,285,000	0
正会員受取会費	1,200,000	1,200,000	0
賛助会員受取会費	85,000	85,000	0
事業収益	1,700,000	2,840,000	-1,140,000
公開講座・シンポジウム事業収益	400,000	0	400,000
メイクボランティア事業収益	200,000	500,000	-300,000
メイク講座事業収益	100,000	200,000	-100,000
検定事業収益	1,000,000	2,140,000	-1,140,000
受取寄付金	13,872,000	25,416,000	-11,544,000
受取寄付金	13,872,000	25,416,000	-11,544,000
雑収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	16,857,000	29,541,000	-12,684,000
(2) 経常費用			
事業費	19,596,000	24,686,000	-3,000,000
給料手当	6,580,000	9,580,000	-3,000,000
福利厚生費	500,000	650,000	-150,000
旅費	95,000	95,000	0
通信運搬費	300,000	720,000	-420,000
消耗品費	450,000	500,000	-50,000
印刷製本費	70,000	70,000	0
賃借料	200,000	400,000	-200,000
諸謝金	8,800,000	8,300,000	500,000
渉外費	300,000	650,000	-350,000
委託費	1,560,000	2,560,000	-1,000,000
支払手数料	100,000	520,000	-420,000
新刊費	626,000	626,000	0
雑費	5,000	5,000	0
管理費	10,000	10,000	0
給料	0	0	0
福利厚生費	4,497,000	4,855,000	-358,000
旅費	1,375,000	1,375,000	0
通信運搬費	120,000	120,000	0
消耗品費	50,000	110,000	-60,000
印刷製本費	200,000	200,000	0
賃借料	150,000	200,000	-50,000
諸謝金	70,000	70,000	0
渉外費	100,000	250,000	-150,000
委託費	200,000	100,000	100,000
支払手数料	150,000	200,000	-50,000
雑費	1,222,000	1,500,000	-278,000
税金	5,000	5,000	0
委託費	850,000	770,000	80,000
支払手数料	5,000	5,000	0
雑費	0	0	0
経常費用計	24,093,000	29,541,000	-5,448,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-7,236,000	0	-7,236,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-7,236,000	0	-7,236,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-7,236,000	0	-7,236,000
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-7,236,000	0	-7,236,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0